

ウクライナ人道危機救援事業に職員を派遣！

日本赤十字社では、国際赤十字を通じた様々な支援を行っていますが、国際赤十字・赤新月社連盟とウクライナ赤十字社から日本赤十字社に対して、ウクライナ国内で展開する「訪問リハビリテーション活動」に職員を派遣してほしいとの依頼があり、それを受けた日本赤十字社国際部から、過去に南スーダン、インドネシア、パキスタンに派遣され、十分な経験を持つ当院理学療法士へ派遣要請がありました。



派遣にあたり佐々木町長へ表敬訪問を行ったのち、開催した出発式では病院長から激励を受け、リハビリテーション課の仲間からは谷田製菓さんのきびだんごで手作りした「きびだんごレイ」、他部署有志からは無事に帰国することを願い栗山天満宮の「お守り」の贈呈がありました。



派遣期間は11月8日～12月9日までの約1か月ですが、「現地のリハビリテーション環境の向上に貢献してきます！」と抱負を語りました。

